民報 藤島

2023年12月3日

第1425号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉱一（宝徳）
TEL0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉱一」と検索で入力を。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
（月200円程度）
11月 35人 46,400円
10月 33人 14,720円

市農業委員会第1回総会開く
会長に石塚治己氏（三瀬）を新任

鶴岡市農業委員会（委員20人）は、改選に伴う第1回総会を11月26日、藤島庁舎で開き、会長に石塚治己氏（62・三瀬）、会長職務代理者に工藤久子氏（64・藤島）をそれぞれ新任しました。

総会では、「農地利用最適化推進委員」31人を委嘱しました。

公選制から任命制へ

農業委員会は、農地の売買や貸借の許可、農地転用への意見具申、遊休農地の調査・指導などを中心に、農地についての事務を行う行政委員会として市町村に設置されています。

任期は3年。

平成27年（2015）に農業委員会法の「改正」で、公選制の廃止と、市町村長による任命制が導入され、今回が3期目です。

農業委員の過半数は、原則として認定農業者とされ、「利害関係を有しない者」（中立委員）を1人以上含めるとされています。

また、主に合議体としての意思決定を行う農業委員とは別に、担当区域における農地等の利用の最適化の推進のための現場活動を行う「農地利用最適化推進委員」が設置されています。

農地部会は、東部（藤島、羽黒、櫛引、朝日）と、西部（鶴岡、温海）の2部会を設置。

専門委員会は、「担い手専門委員会」と、「食育・地産地消専門委員会」に変わり「農業振興専門委員会」が設置され、「広報編集委員会」は広報誌「もっしぇの一」を発行しています。

ふるさと賛歌 14

鈴木重雄（八色木）

八色木薬師瑠璃光如来堂の由来

八色木の海藤徳三さんが知る口伝は、延宝5年（1677）に落野目村（豊栄）の村下の田、鴻崎（字地不明）から仏像（1寸8分）が見つかった。これが木造如来であった。

当時は一帯が沼地の田であり、藤島川の氾濫・洪水で流れ着いたと思われる。

地主の日向三左衛門（後に三右衛門）に届けられ、屋敷にお堂を建てて、月の8日に僧侶をよんで弔い、手厚く祀っていたが、いつの頃からか子どもの夜泣きが激しくなったり、家族が病に冒されたりしたので、巫女に聞くと、薬師様が出て曰く、「私はもともと此処に来るのではなく、八色木村の海藤徳右衛門に祀られるために来たのだ」とのことであった。

そこで、三左衛門は、徳右衛門の現在地（平田1番地）に堂宇を建立し、手厚く保護してきた。（つづく）

第７期　鶴岡市農業委員会委員			
1	阿部晃士	あべこうし	谷定
2	松本典子	まつもとのりこ	文園町
3	原田政幸	はらだまさゆき	福田
4	佐藤　晃	さとうこう	中清水
5	田澤幸弘	たざわゆきひろ	下清水
6	石塚治己	いしづかはるき	三瀬
7	荻原優太	おぎわらゆうた	大山
8	佐藤治久	さとうはるひさ	下小中
9	佐藤泰仁	さとうたいじん	馬町
10	工藤久子	くどうひさこ	藤島
11	石井光明	いしいみつあき	添川
12	金野匡良	こんのまさよし	羽黒町猪俣新田
13	丸山伸一	まるやましんいち	羽黒町荒川
14	菅原　仁	すがわらひとし	羽黒町赤川
15	渡部　修	わたなべおさむ	羽黒町高寺
16	小林　博	こばやしひろし	黒川小在家
17	鈴木　聡	すずきさとし	松根
18	野村　恵	のむらめぐみ	丸岡
19	伊藤由紀子	いとうゆきこ	熊出
20	五十嵐覚	いがらしさとる	関川

第７期　鶴岡市農地利用最適化推進委員			
1	渡部信子	わたなべのぶこ	我老林
2	齋藤　靖	さいとうやすし	神明町
3	須田進二	すだしんじ	中京田
4	斎藤潤子	さいとうじゅんこ	新海町
5	小南賢史	こみなみたかし	覚岸寺
6	榎本　勝	えのもとまさる	少連寺
7	吉住喜之	よしずみよしゆき	白山
8	長谷川浩之	はせがわひろゆき	水沢
9	佐藤圭介	さとうけいすけ	中山
10	野村　仁	のむらひとし	平成町
11	池田賢成	いけだよしなり	千安京田
12	小林節径	こばやしよしみち	下川
13	田村亮真	たむらあきちか	長崎
14	森　秀弘	もりしゅうひろ	長沼宮東
15	井上克浩	いのうえかつひろ	渡前
16	石川　守	いしかわまもる	野田目
17	斎藤　功	さいとうこう	八色木
18	齋藤万里子	さいとうまりこ	羽黒町川代山
19	齋藤和博	さいとうかずひろ	羽黒町野荒町
20	新舘　登	しんたてのぼる	羽黒町川代
21	齋藤政伸	さいとうまさのぶ	羽黒町松尾
22	菅原輝康	すがわらてるやす	馬渡
23	河井健次	かわいけんじ	桂荒俣
24	富樫　初	とがしはじめ	下山添
25	黒井涼子	くろいりょうこ	東荒屋
26	若生正人	わこうまさひと	下名川
27	清野吉喜	せいのよしき	越中山
28	齋藤　智	さいとうさとし	倉沢
29	佐藤宣夫	さとうのぶお	木野俣
30	本間長志	ほんまたけし	山五十川
31	伊藤　貢	いとうみつぐ	越沢

鶴岡市農業委員会　役職		
会長	石塚治己	三瀬
会長職務代理者	工藤久子	藤島
東部農地部会長	石井光明	添川
東部農地部会長職務代理者	金野匡良	羽黒町猪俣
西部農地部会長	原田政幸	福田
西部農地部会長職務代理者	五十嵐覚	関川
担い手専門委員長	須田進二	中京田
担い手専門副委員長	佐藤泰仁	馬町
農業振興専門委員長	鈴木　聡	松根
農業振興専門副委員長	石川　守	野田目
広報編集委員長	荻原優太	大山
広報編集副委員長	松本典子	文園町

「起案、決裁」文書がない小中一貫教育
公文書条例違反、検証できない重大問題

このほど、日本共産党市議団の長谷川剛議員が、市教育委員会に、令和4年6月21日の市総合教育会議に提案される前の「小中一貫教育」に関する公文書（記録）の情報公開を請求しました。

11月13日に、市教育委員会から開示決定された通知は、記録が6月13日の会議の1枚のメモ程度と、4年前の令和元年10月14日～15日に、市教育委員5人が東京都品川区立日野学園に視察に行った「復命書」のみでした。

肝心の小中一貫教育に関する「起案文書」、「決裁文書」はないとのことでした。

誰がなぜ、藤島地域に小中一貫校が必要と思って「起案」したのか、知ろうと思っても記録がありません。

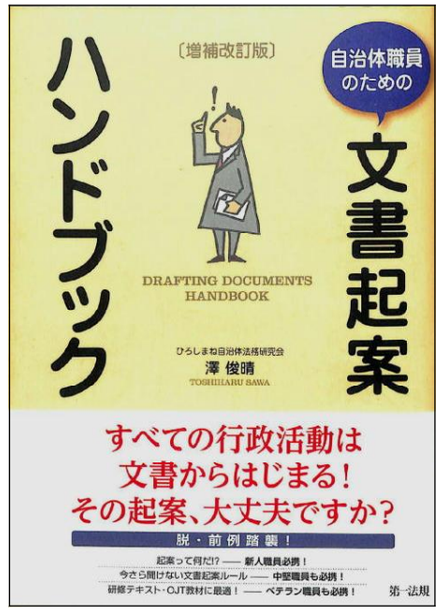
誰と誰が政策の有効性やリスクを検討したのか、記録がなく、重大事案が「決裁」もされずに進められました。

起案し決裁受ける

「鶴岡市公文書等の管理に関する条例」（令和2年3月25日）では、職員に文書の作成と、公文書の整理が義務づけられています。

「経緯も含めた意思決定に至る過程」を、「検証することが出来るよう」、文書を作成しなければならないとされています。

さらに、「鶴岡市公文書管理規定」（平成17年10月1日）では、「事務の処理は、公文書によって行うことを原則」、「公文書による事務の処理は、起案により決裁を受け」ることとされています。



文書で回る

自治体の仕事は文書で回っていると言います。

正確な情報伝達や、能率的な仕事、経緯を振り返り、行政の継続性を確保するためには、記録が欠かせません。

自治体の文書処理の基本的な流れは、起案（原案をつくる）→回議（上司の承認）→合議（他部署の承認）→審査（法令適合、有効性とリスクの判断）→決裁（最終意思決定）→施行、となります。

検証できない

「起案～決裁」文書がなければ、誰かの思いつきで行われたことになります。

政策の結果が失敗したときに、後から検証できないことになり、重大です。

東田川史跡物語
『駐蠻之碑』⑧
青山 崇

現代文の碑①

締めとして、碑文を現代文で示しておく。

明治14年8月、車駕で山形・秋田・北海道の北方巡幸に出発した。

9月23日に清川学校（明治13年竣工：写真）に着泊した。

有栖川熾仁（たるひと）親王・北白川能久親王及び参議大隈重信・大木喬任（たかとう）らが随行した。

郡長は、配下の戸長及び県会議員等を率い丁重に出向えし、宿舎となる清川学校に着いた。

最上川の網漁を観覧、また黒川村農民は猿楽を奏上し金50円（郡長の月給40円）を賜った。

24日、東田川郡役所で一時休憩し、金200円を賜り、郡吏以下皆に恩賜があった。

極貧及び罹災者に特別の恩賜、郡民80歳以上に養老資金を給し、郡民は四季農事図を献上した。

25日は、旧庄内藩士族ら開墾の後田村開墾地・蚕室を視て金50円を賜い、農耕・養蚕・絹織を奨励した。

豊栄村日向三右衙門が資金を寄付し、その資金で郡役所が修繕できたとして、特に金50円を賜わった。

その他小休所の狩川村見龍寺、横山村菅原美纒、押切村加藤安兵衛、新堀加藤勘右衙門、余目村佐藤善治、廻館村相馬繁之らに、殖産興業に励んでいるとのことで、特産物や家宝もご覧になった。

恩賜に差があったが、千歳の名誉と郡民は歓呼した。

想い出アルバム作戦

色々あった東京五輪だったが、アルバムとは広辞苑によれば、写真・絵画・切手などを貼る帳面。また写真などを編集し印刷したものをいうとある。となれば、五輪誘致で配ったと報道されたアルバムとは、後段に書いてある物という事か。ブログ「はせ日記」には、「想い出アルバム作戦」の記述がある↓。

▲誰の発案で、どんな方々が編集委員に選ばれ、彼らの意見でどんなものを作る為、写真撮りは誰にお願いすることにし、誰のOKで印刷に出す事にし、どんな方法で入札されて完成された物なんだろうかネ～とは思うが、まだどっかに同じ物があるはず。だから、アルバムがニュースになった途端に、シュレッダーにかけられたんじゃないかな。これには前例があるからサ。

▲一部20万円もする高額なアルバム。これを配ったから東京五輪が出来る事になったんだと胸を張ったらいいんじゃないかナ。そんな効果があったアルバムなんだから、世界に自慢できる写真集なんだろ？国民にも見せて欲しいものです。どっかに現物は必ずあるはず。

▲それは、アベ首相というトップから「必ず取って来い。金はいくらでも出す。官房機密費もあるから」の檄に、みんなが感激し頑張ったんだ。と今は石川県知事を務める当時は国会議員で推進本部長を務めた人が、公表した。国民は、よく頑張ったと言うべきなんだろうが、アルバムを配る事は買収になるので、禁止されているんだって。

▲こんなオモテナシが世界に知れ渡ったし、日本はキタナイ事をしたんだともネ。（石川）